

No.	課室 所名	目標項目	難易度 (ABC)	目標の内容				目標に対する活動(上半期レビュー)		目標達成の状況【output・input】		成果分析【outcome】	
				目標指標の内容	目標の基準値	目標達成時期	目標値	目標達成のための具体的方法	【現状】	【ギャップと対策】	①達成値・実績値	②取組・行動内容	③目標達成による成果
				(何を)	(目標設定時の状態・比較実績)	(いつまでに)	(どの水準までどうする・達成後の状態)	(具体的な取組・行動の内容・スケジュールの概要など)	上期(4月～9月)の取組実績 (具体的活動・行動)	下期(10月～3月)に向けた課題と取組の予定(具体的活動・行動)	(目標の達成状況・現在の状態)	(目標達成のために行った取組・行動)	(目標の達成による効果、目標達成できなかった事由)
業務改善取組①	大森病院事務局	健全経営に向けた取り組み	A	健全経営に向けて職員が一丸となって取り組む	・3期連続の赤字決算(見込) ・人材不足、経常的な時間外の発生 等	年度末	・収支の改善 ・職員の資質向上	・経営改善検討委員会の開催(収入確保・経費削減・コンサル導入 等) ・人材育成・強化(職員研修・人事評価・資格取得の奨励 等)	・定例で経営改善検討委員会を開催。(委員9名) ・各科課題分析、経費削減対策の検討 ・看護師特定行為研修1名参加	・収益確保対策の検討(前年比真実なく項目の分析) ・横手病院と合同研修会の開催(11/8) ・H29研修計画の策定	・9月以降委員会が開催できていない。(5回実施) ・看護師特定校研修1名 修了	・保守契約内容の精査を行い年間6百万円程削減 ・夕暮れ当番、ドック当番に運番制を導入し時間外手当の削減を図った ・収入確保:保険点数の確認 経費削減:セット検査項目の見直し	・日程調整ができず定例開催ができなかったが、各科と課題を共有することができた。 ・職員の資質向上については、病院全体のレベル向上を図るためには必要であり、職員研修の充実を図っていく。
重点取組①	大森病院事務局	新公立病院改革プランの策定	A	県が策定する地域医療ビジョンや国が示したガイドラインに沿った改革プランの策定	・未策定	年度末	・新改革プランの策定	・地域医療ビジョンとの整合性 ・経営改善検討委員会開催(収入確保・費用削減対策・課題整理 等) ・市長部局、横手病院との協議(繰出金の調整・課題共有 等)	・企画経営会議において両病院の現状確認とプランの方向性を協議	・10/25企画経営会議においてプラン内容の協議 11月:関係部署との協議 12月:素案策定 2月:政策会議へ報告	企画経営課会議を開催し、プランの構成、指標設定等について協議。年度末までに完成見込。	プラン策定に向けて、旧プランの振り返り、新ガイドライン・秋田県地域医療構想との整合性を図りプランを策定。	2025年に向けて病院の課題が整理され、病院事業として課題が共有された。引き続き両病院が課題解決に向け連携を図ることを確認した。
重点取組②	大森病院事務局	診療報酬改定への的確な対応	B	平成28年診療報酬改定を受け、入院基本料等加算の見直しなど、当院の地域における役割・人員体制・患者層に応じた施設基準の届出を行う。	①急性期看護補助体制加算 夜間看護体制加算 →新設項目 ②看護補助加算 夜間看護体制加算 →新設項目 ③後発医薬品使用体制加算 →施設基準内容変更 ④精神疾患診療体制加算 →新設項目 ⑤認知症ケア加算 →新設項目	9月末	①1日につき10点(2病棟40床・14日限度) ②入院初日150点(3病棟50床) ③入院初日35点(2の場合)(2病棟40床・3病棟50床) ④入院初日1000点(1の場合)(2病棟40床のうち該当者) ⑤1日につき30点(2の場合)(15日以降1日につき10点)(全病床のうち該当者)	①～④(3月:実績期間) 4月:実績取りまとめ・施設基準届出 4月:算定開始 ⑤ 8月:実績期間 9月:実績取りまとめ・施設基準届出 10月:算定開始	・①～④ 4月より算定開始 ・⑤ 8月より算定開始	・上半期実績を分析し、収益がマイナスとなっている項目についてマイナス要因を解析し、収益確保につなげる ・H29当初予算に向けた施設基準の見直し等の検討	・①～④ 4月より算定開始 ・⑤ 8月より算定開始	①～④(3月:実績期間) 4月:実績取りまとめ・施設基準届出 4月:算定開始 ⑤ 7月:実績期間 8月:実績取りまとめ・施設基準届出 8月:算定開始	参考算定額(2017/01) ①96,000円 ②13,500円 ③34,300円 ④0円 ⑤351,720円 ⑤について該当者が当初見込みより多く大幅増となっている。